



# 学校だより

令和5年2月24日  
市川市立第六中学校  
校長 渋谷 敬二

## 【2月の新型コロナウイルス感染状況について】

1月下旬には感染が落ち着きましたが、しばらく感染者数は1～3人の状況が続きました。2月中旬には0人になり、その後、感染の報告はありません（2月23日朝の時点）。2月も生徒の感染についてメール配信は行いませんでした。今後も校内感染が疑われる状況等、学校生活に影響が出そうな場合以外はメール配信を行わない予定です。コロナ禍も4年目になりますが、以前の生活スタイルに戻せる日が待ち遠しいです。

なお、3月13日からマスク着用について緩和されることが政府から発表されていますが、学校におけるマスク着用の考え方の見直しは令和5年4月1日から適用されることとなります。本校の具体的な対応については後日、お知らせいたします。

## 【卒業式のマスク着用について】

これまでにお伝えしているとおり、今年度の卒業式は3月10日（金）に実施いたします。計画に変更はありませんが、マスクの着用については以下のようにしたいと思います。

- ・保護者、来賓の皆様には常時マスクの着用をお願いします。
- ・職員も常時マスクを着用します。ただし、3学年担任は卒業証書授与で呼名をするときと入場のとき、校長は式辞を読むときにマスクを外す場合があります。
- ・卒業生は合唱の時にはマスクを着用します（ガイドラインで定められています）が、その他の場面では各自の自由とします。入退場及び、卒業証書授与の際はマスクを外すことを推奨しますが、マスクの着脱は個人の判断を優先します。強制することはありません。

## 【家庭教育学級について】

2月14日（火）、今年度最後の家庭教育学級が開かれ、保護者約30名の参加がありました。今回は進路指導に関する内容で、教育委員会より講師を招き、多くの資料を基に様々な説明を聞くことができました。お子さんの受験を初めて迎える方には貴重な機会になったことと思います。

コロナ禍となり、PTA活動のほとんどが停止状態になっていますが、今年度家庭教育学級は4回も実施することができ、多くの方に参加していただきました。企画、準備等を担っていただいた委員の皆様、ありがとうございました。

## 【大きな試練を超えて】

21～22日に千葉県公立高校の入学者選抜検査が行われました。3年生はこれまで自分の進路について様々な点で悩み、調べ、苦労や努力を重ねてきました。最後の試練をのり切ったこととなります。結果が発表されるまではドキドキが続きますが、まずはこれまでの努力を称えたいと思います。大切なことは「やり切った」という気持ちになれたらどうか、ということだと思います。反省点も含め、ここまでの苦労は自分を成長させてくれるはずで、人生には試練がつきものです。その1つ1つの経験は辛さでもあり、人生を豊かにしてくれるものでもあります。「遅しく」進んでいってください。いよいよ六中に登校する回数は残り10回です。有意義な楽しい時間にしてほしいと思います。

## 【校内の掲示物紹介】

美術室前の掲示板に新たに「フォトコラージュ」（3年生の作品）が展示されています。フォトコラージュとは同一画面内に、異った二つ以上の映像を合成したり、印刷絵画と組み合わせたりすることによりその効果によって異質なイメージを作り出す手法です。3年生の最後の作品は豊富なアイデアと工夫によって出来上がった見事な出来栄です。また、校門脇の掲示板に美術部が新しい掲示作品を張り出してくれました。「芸術は現代的になり得ない。芸術とは根本的に永遠である。」・・・深い言葉ですね。※それぞれの作品を裏面に掲載します。



3年生の「フォトコラージュ」



美術部の掲示作品  
エゴン・シーレ展の案内も掲載

**【教育委員会 保健体育課からのお知らせ】**

市川市の学校給食におけるお米につきましては、地産地消を進めるため、令和4年11月より千葉県産米を提供しております。

なお、相互交流は引き続き行っていきますので、防災教育の日がある3月と、食育交流月間である9月は会津地方のお米を提供いたしますのでご承知おきください。

※近日中にこのことについて、詳細をお伝えするプリントを配布いたします。